

古都首里の伝統文化



朝拝御規式 (ちょうはいおきしき)
元旦に首里城正殿及び御庭で行われる朝賀の儀式の再現イベント。



冊封儀式 (さっぷーぎしき)
中国皇帝が琉球国中山王を封ずる儀式の再現イベント。



琉球王朝祭り首里・古式行列
王府時代の正月「三箇寺参り」をモチーフにした再現行列。



首里城(ウグシク)への美御水(ヌービー)の奉納祭
王城の公事朝賀の際に国王によって使われた聖水の献上再現イベント。



赤田のみらくウンケー
首里赤田町の伝統行事。人々の無病息災と家庭円満を祈願する行事。



旗頭
綱引き行事の応援旗。各村や町毎に作られ、行事の中心でもある。



獅子舞
旧暦6月から8月にかけての豊年祭や旧盆に行われる。



空手
主に中国から伝わった武術と在来の武術が結びつき生まれた武術。



宮廷音楽
さまざまな宮廷儀礼に用いられ、「御座楽(うざがく)」と「路次楽(ろじがく)」の二種類がある。



琉球舞踊
琉球で創作・継承されてきた舞踊の総称。民族舞踊、古典舞踊、雑踊に分類される。



三線 (サンシン)
14世紀頃中国から伝来したと伝えられる。琉球音楽の主要楽器として定着。



漆器
素地にウルシの樹液を塗って作る容器や道具類。



紅型 (びんがた)
沖縄の代表的な染め物。



泡盛
日本最古の蒸留酒といわれ、約600年の歴史があるとされる。



伝統菓子
王家や上流階級の家で食された「琉球菓子」と家庭でも作れるおやつ系統がある。

古都首里の文化財



首里城
1406年から1879(明治12)年明治政府に明け渡すまで、琉球の中心として栄えた城。



玉陵 (タマウドン)
1501年創建、第二尚氏の歴代国王と家族の墓、2000(平成12)年世界遺産に登録。



園比屋武御嶽石門 (そのひゃんうたき)
1519年創建、国王が出御の時、道中の安泰を祈願した。2000(平成12)年に世界遺産に登録。



円覚寺跡
1494年築造、天界寺、天王寺と並んで琉球三大寺の一つ。



中城御殿跡 (ナカグシクウドン)
1875年築造、琉球国王の世子(王子・世継ぎ)が住んだ屋敷。



松崎馬場
浦添方面に至る街道の一部及び広場。冊封の時、冊封使を歓待する棧敷が設けられた。



御茶屋御殿跡 (ウチャヤウドン)
1677年築造、国王が遊覧し、冊封使など国賓を歓待するところ。



弁ヶ嶽石門 (べんがだけ)
1519年建造、大嶽と小嶽があり、いずれも国王の祈願所。



中山門跡
1428年建造、王都首里の第一の坊門。別名「下の綾門(しむぬあいじょー)」と言う。



弁財天堂
1502年築造、朝鮮から送られた「方冊藏経」を納めるために建てられた。



安谷川嶽 (あだにがーだけ)
高級女神官「首里大阿母志良礼(しゅりおおあむしらい)」が司る首里城外の六嶽の一つ。



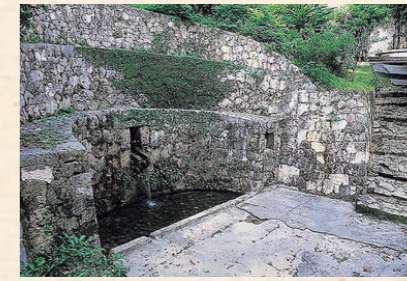
首里金城町石畳道
1522年建造、首里城から現在的那覇港までを結ぶ主要道路「真珠道」の一部。



首里金城の大アカギ
奇跡的に戦火をまぬがれ残った樹齢約200年とされるアカギの大木群。



末吉宮
1456年頃築造、琉球八社の一つ。俗に「社壇(しゃだん)」と称する。



井戸・樋川 (カー・フィージャー)
カーは、井戸または用水に使われる湧水。フィージャーは、湧水をかけ樋で引いた井泉。